

医療タイムス

週刊医療界レポート

2017.4/10 No.2298

Topics

新たに820人が入職 戸田中央医科グループ

戸田中央医科グループ(TMG、中村隆俊会長)は1日、埼玉県戸田市文化会館で2017年度TMG入職式を挙行了。本年度の同グループ新入職員数は、研修医14人をはじめ、看護師・助産師・准看護師・看護補助者383人、介護福祉士・介護員8人、薬剤師34人、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士142人、臨床検査技師36人、臨床工学技士12人、管理栄養士・調理師18人、診療放射線技師22人、社会福祉士13人、事務138人の計820人。

あいさつに立った中村毅TMG副会長は、TMGが「1962年に29床の戸田中央病院を開設して以来、今年55周年の佳節を迎える」ことを紹介。さらに、現在の医療は1人の患者に対し、医師・看護師やスタッフなど多くの職種が関わるチーム医療で成り立っているとし、「より良い医療を提供するためにも、職員間のコミュニケーションが重要だ。ぜひその構築を図ってほしい」と訴えた。また、「今日からプロの医療人として、経験を積んでいくこととなる。トータルヘルスケアを目指すT

MGの新たな歴史をともに作っていききたい」と期待を寄せた。

横川秀男TMG副会長は、「戦後72年、多くの先輩たちの手により世界一といわれる社会保障システムを築き上げてきた。今日はさまざまな職種が一同に集まりスタートを切ることとなるが、未来につながる社会保障制度を作っていかなければならない」と強調。「TMGはまだまだ発展途上だ。100年を目指して、前向きに楽しく取り組んでいきたい」と述べた。

続いて、各職種の代表11人の新入職員に対して、中村副会長、横川副会長が辞令を交付。山本紗衣さんが、新入職員誓いの辞を述べた。



800人を超える新入職員が会して行われた入職式